

問 原子力人材育成と 確保の見通しは

答 技術者の育成・確保に取り組む

豊創会 村上 孝 議員



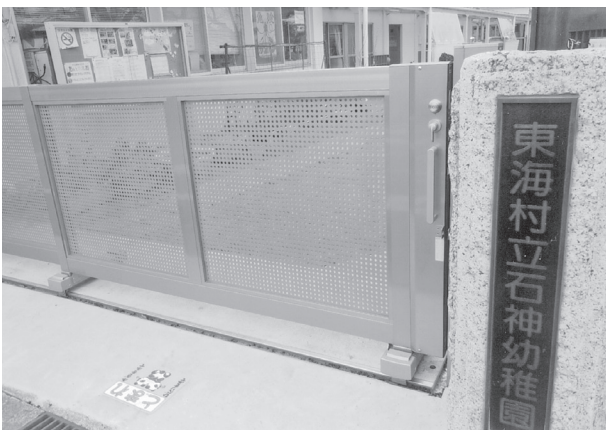
議員 現在、多くの原子力発電所は、稼働年数が運転期間40年の制限に近づいており、高齢化による廃炉の増加が見込まれる。国内外から人材を集め、廃炉に関する人材育成と確保が必要ではないか。

村長公室長 廃炉に関しては、国等において様々な研究開発・人材育成等が行われているが、村では、研究者の人材育成だけではなく、現場の技術者の人材育成と確保も必要と考える。そのため、原子力人材育成・確保協議会の活動を支援し、優秀な技術者が育つよう取り組んでいく。

問 次世代を担う子どもたちへの教育
地域社会活力を生む教育を目指す

議員 学習指導要領の改定では「生きる力を育むを基本に、よりよい社会をつくる」という理念を学校と社会が共有する」とあるが本村ではどのように進めていくのか。

教育長 社会の一員として、地域のさまざまな人やものとのつながりの中で学び、また子どもたちの元気が地域社会の活力を生む。そのような教育活動が重要であると認識しており、地域とのつながりを意識した教育活動が求められている。



幼稚園の再編整備を望む

議員 幼児教育の重要性を以前から訴えてきたが、石神、舟石川、須和間幼稚園を再編整備計画の検討はどうなっているのか。

福祉部長 民間事業者の意向に配慮しながら、官民の役割を共通認識し、公立保育所、幼稚園再編整備計画の具体案を検討している。石神幼稚園の整備についても、当該計画の中で検討していく。

問 北線(照沼笠松線)の現状
引き続き要望しているのか

議員 県の都市計画線、通称「北線」は図面のみの計画線にとどまっており、いつ整備されるのか期待が持てない状況である。道路網の整備により、本村の物流と人的交流が格段に活発化すると期待するがどのように考えているのか。



道路網の更なる整備を

村長 「北線」の延長については、地域の活性化においても限りなく大きな効果をもたらすものと考えている。引き続き要望活動が続けていく。